



上のQRコードを読み取ると、(公社)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

# ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

## 末永いご活躍を願って 長寿(米寿・喜寿) お祝いの会

当センター互助会主催による長寿お祝いの会が、2月13日ミレニアムセンター佐倉にて開催されました。今期、米寿1人、喜寿64人のご長寿会員がおられます。当日は、喜寿32人にお集まりいただき、厳粛の中、安全標語を全員で唱和し開催されました。その模様をお知らせ致します。

下田 貢互助会幹事により以下進行しました。

### 会員互助会 熊田 猛会長 挨拶

今や人生100年時代と言われており、シニア世代の社会参画が求められています。現在会員の平均年齢は72～73



歳ですが、生涯現役もあり得る時代です。これからも、ご自身にふさわしい生きがいを持って生活しましょう。

おめでとうございます。

### 長寿お祝い 記念品贈呈

4地区(佐倉・和田/志津/白井・千代田/根郷・弥富)のご参席会員へ記念品の贈呈と共に記念写真の撮影が行われました。

佐倉・和田地区



志津地区



白井・千代田地区



根郷・弥富地区



### 出席者代表 大田垣 静江さん 挨拶



佐倉市には今年米寿を迎えられる方が約700人、喜寿は約2,500人おられます。私自身は健康維持のために、良く歩き、泳ぎ、脳トレをしています。これは介護や認知症の予防にもなります。

私たちは、まだ77歳ですからこれからもっと頑張っていくと思います。身繕いは長寿にプラスされるとの言葉があります。みなさん、おしゃれしましょう！  
3月29日にセンターの「女性の会」発足の集いがありますので、こぞってご参加下さい。

### 田中 千俊会長 祝辞

人生の節目を迎えお祝い申し上げます。人生100年時代に当たり、喜寿の方は米寿を、米寿の方は卒寿を目指しましょう。



現会員には、90歳以上が3人おられ、まだまだ現役です。来年には更に3人増えますので、当センターとして卒寿・百寿をお祝いする準備を進めます。

来年、センターは設立40周年を迎えます。これからお元気で、ご経験を活かし後輩のご指導を宜しくお願い申し上げます。





# 長寿お祝いの会



## 弘松 徹副会長 閉会の辞

「お楽しみ演芸会」は、昨年から催されました。皆様これからもお元気で、又米寿のお祝いでお目にかかりましょう。



—ご安全に—

長寿をお祝いし、会員有志及び健康体操同好会と、民謡や踊りを楽しむサークル「有希の会」の皆さんによる演芸が披露されました。演目は、私たちの年代であれば懐かしい民謡や踊りで、冬の寒さを忘れさせてくれる熱のこもった演芸に、ご列席の皆さんも酔いしれていました。最終演目は、健康体操同好会と会場全員で合唱をし、体操をして締めくくりました。心と体が暖かくなるひと時でした。

シルバー人材センターの会員としては、一生に一度の記念すべき日ではありましたが、まだまだ通過点にすぎません。午後の時間を共有させていただきましたが、ご列席の皆さんと芸達者なシニア世代の皆さんに元気を頂戴したひと時でした。これからも健康でご活躍ください!!



## 長寿 お祝い年齢



- \* 還暦-60歳 とんでもないよと追い返せ
- \* 古希-70歳 まだまだ早いと追い返せ
- \* 喜寿-77歳 いそぐな行楽これからよ
- \* 傘寿-80歳 なんのまだまだ役に立つ
- \* 米寿-88歳 もう少しお米を食べてから
- \* 卒寿-90歳 年齢に卒業はないはずよ
- \* 白寿-99歳 百歳のお祝いが済むまでは
- \* 紀寿(百賀) 100歳 こまでくれば目指せ日本一
- \* 茶寿-108歳 まだまだお茶が飲み足らん
- \* 皇寿-111歳 そろそろゆずるか日本一
- \* 大還暦-120歳 (インターネットより引用)

取材担当/広報委員 葛西 正敏

## 高橋塾

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <p>1月25日(土) 高橋先聖宅に9時集合<br/>高橋先聖宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 枝垂れモミジの剪定 30分</li> <li>2 シヤクナゲの剪定 20分</li> <li>3 フラボツチの作り方 60分</li> <li>4 松の幹へのワラ巻き 60分</li> <li>5 その他 10分</li> </ul> | <p>1月26日(日) 高橋先聖宅に9時集合<br/>高橋先聖宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 枝垂れモミジの剪定 30分</li> <li>2 枝垂れ梅の剪定 30分</li> <li>3 マキの剪定 90分</li> <li>4 ツゲの剪定 30分</li> <li>5 その他 30分</li> </ul> | <p>1月27日(月) 高橋先聖宅に8時45分集合<br/>角来の圓通寺へ移動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 黒松の剪定 (1本) 30分</li> <li>2 五葉松の剪定 (3本) 30分</li> <li>3 糸ヒバの剪定 (2本) 30分</li> <li>4 ソテツの剪定 (3本) 30分</li> <li>5 モミジの剪定 (1本) 30分</li> <li>6 その他 (1本) 30分</li> </ul> |
|---|--|--|

取材・撮影 田中会長

植木職 個人講習  
植木職高橋公輔名誉顧問による、植木剪定個人講習が令和2年1月25日から、高橋宅及び角来の円通寺で行われました。28期生4人の植木職が3日間にわたり、様々な庭木の剪定や枝作り、ワラ巻きなどの知識や技術を学び、植木職の伝統を引き継ぐ様子を一部写真でご紹介します。

## 植木職 個人講習 先輩の技を学ぶ 高橋講師と 植木職28期生



植木職個人講習(高橋塾)の様子はスマホでご覧下さい



【動画】





# 「第29期植木職養成講座」が始まりました。

1月初旬に「第29期植木職養成講座」の応募が締め切れ、面接などの手続きを済ませた9名の方が参加して、2月から講座が始まりました。2月3日が開校式で2回目の授業を取材のため伺いました。

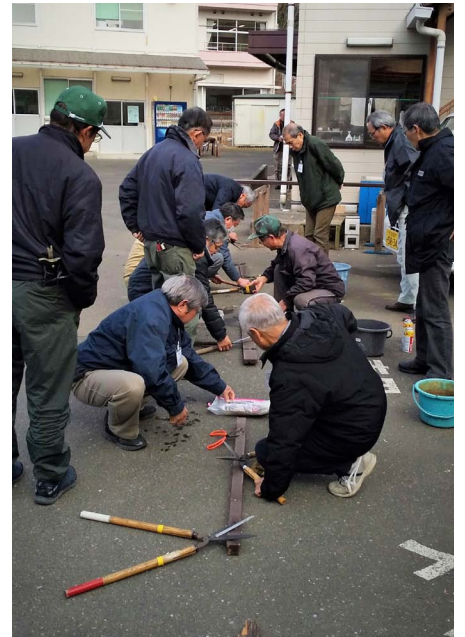
朝から、テキストに基づき講義の後、刃物研ぎの実技です。「刃物研ぎ班」の方々のご指導により、前庭で剪定鋏のさびを落とし、受講生それぞれ手持ちの鋏の状態に分け、砥石を使った研磨の方法の実技指導でした。実技が終わると室内に戻り、受講生からのいろいろな質問や疑問に講師陣が応じ、経験談を交えながら、ほど良い緊張感の中、熱弁を振るっておられました。

昼食後はワークプラザ二階での講義でした。まず、講師の新谷重満さん(写



真右)が枝の剪定時期や方法について、教科書に基づき基本的な説明をされ、今回から講師となられた菊間敏文さん(写真左)が追加説明され、二人三脚で進行していました。受講生からの質問に、お二人で丁寧に答えられ、植木の種類による特性の違いや安全に注意すること、やってはいけないことなどについて、解説されていました。

3月からは週二回の講座(講義や実技)が、予定されています。秋の閉校



式の後も特別研修が企画され、年末の「門松作成」、先輩方のご指導により実際の経験を積むことによって、お客さんに十分ご満足いただける「植木職」となれることでしょう。

取材担当/広報副委員長 岩淵 功

井相田美代子さんの職場は、京成志津駅近く、296号線沿いにある「ヘアーサロンEVE」。2018年7月にオープンした新しいお店で、お店の前面には洒落たガーデニングが施され、店内はシックで落ち着いたインテリアの素敵なサロンになっています。

井相田さんの仕事は、お店前面の、窓や照明、たたきの清掃と植栽の手入れです。その他、お店の中の花瓶に緑を活けることもしているとのこと。

井相田さん：「昨年の10月から、毎週月曜日午前中の2時間、EVEでの仕事をさせてもらっています。私は、庭いじりが好きなので楽しく、時には通りがかりの人から、きれいにしていますね!と声を掛けられることもあります。家から歩いて10分くらいなので、運動にもなっています。」



井相田さん

## 「キレイ好き」が、お役にたてています

### 1

取材担当/広報委員長  
長田 成兒

ヘアサロンEVE

「ヘアーサロンEVE」では、辻本オーナーご夫妻と現在2人のスタッフで美容の仕事がされています。

オーナーご夫妻：「お客様には気分良く過ごしていただきたいので、お店をきれいにしておくことに気を付けています。また、髪や頭皮にやさしいオーガニック材料を使っています。スタッフには、シフトなどの面で女性が働きやすい環境となるよう配慮しており、そのため現在、美容スタッフを募集中です。

井相田さんは、植栽の知識が豊富でセンスが良く、お客様にも好評です。」

井相田さんは、EVEの他に、学童保育での清掃作業もしており、また、手芸同好会に入り、初めての編物にも挑戦して交流を深めているとのこと。

辻本オーナーご夫妻、井相田さんには、お忙しい中、快く取材に応じてくださりありがとうございました。

会員の皆様、一度来店してみませんか?





# 新型コロナウイルス感染症に備えて

一人ひとりが  
できる対策を知っておこう

昨今、毎日報道されている「新型コロナウイルス」は、ますます感染拡大する気配です。私たちは、仕事上いろいろな利用者を訪問して業務を遂行し、また日常生活に於いても人が多く集まる場所へ行かざるを得ない場合があると思います。そこで、皆さんと今一度、感染予防について確認しましょう。



1. どうやって感染するの？

飛沫感染

感染者のくしゃみやみ・咳・つばなどの飛沫と一緒にウイルスが飛び、別の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み感染する。

【主な感染場所】

劇場、満員電車など、人が多く集まる場所。

接触感染

感染者がくしゃみやみや咳を手で押さえて、その手で周りの物に触れてウイルスが付き、別の人がその物に触ってウイルスが手に付着、その手で口や鼻を触って粘膜から感染する。

【主な感染場所】

電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなどです。

2. 感染しないようにするために！

過剰に心配せず、「手洗い」「マスクの着用」など通常の感染症対策が重要です。個人で出来る感染予防で最も重要なのは、こまめで丁寧な手洗いです。

3. 手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

4. その他

- ① 不要不急の外出は、控えましょう。
- ② 発熱など風邪の症状が見られるときは、仕事は休みましょう。
- ③ 症状が4日以上続けば、「帰国者・接触者相談センター」に相談しましょう。

\*電話相談窓口（コールセンター）

043-2223-2640  
(9時～17時、土・日・祝を含む)

5. 普段の健康管理

普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心掛け、免疫力を高めておきましょう。

常務理事 田中 豊嗣